

福島県(道路)

(基本方針)

- 県土の再生と復興に向けては、まず、全県下で被災した道路の災害復旧を進めていく。そのうえで、津波被災地域の復興まちづくりを支援するとともに、被害が甚大な浜通り地域と中通り・会津地域を結び、災害時も含めた広域的な連携・交流に資する道路などの機能強化に取り組んでいく。
- 加えて、避難指示が解除された地域の復興と、避難住民の早期帰還を実現するため、周辺地域を含めた対象エリアを設定し、これら地域内における道路の整備計画を前倒しするなど、復興に向けて着実かつ戦略的に進めていく。
- 広域かつ大規模な避難により、その避難先で著しく交通量が増加した箇所など、避難の加速化に伴う交通特性の変化に対応した現道の安全対策を緊急的に進めていく。

(復旧の概況)

- 津波被災地において、被災した道路や橋梁の災害復旧事業を進めており、H28年度までに196箇所のうち、175箇所が完了した。
- 避難指示区域の復興を周辺地域から強力に支援するため、「ふくしま復興再生道路」の整備を進めており、H28年度までに29工区のうち、9工区が完了し、H30年代前半までに整備完了することを目指している。(12市町村外を含む)

インフラ復旧の工程表(道路)

平成29年3月末現在

●→ : 工程が見込めるもの ●.....→ : 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H28年度の目標 (H28.7公表)	H28年度に実施 したこと(成果)	H29年度に実施 すること(目標)	29年度				30年度				31年度				32年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
道路の復旧																			
常磐自動車道	東日本高速道路(株)	平成27年3月1日に全線開通した。	-																
一般国道6号	国	平成25年度内に本復旧が完了した。	-																
県管理道路 川内村エリア																			
県道小野富岡線西ノ内工区	県(土木部)	-	調査・設計・用地取得	用地取得、道路改良工、橋梁下部工に着手	用地取得、橋梁下部工完了	●.....→ 設計・用地取得・工事													平成30年代前半の完成を目指す。
県道小野富岡線五枚沢1工区	県(土木部)	-	鍋倉トンネルの供用。(仮称)1号橋の完了。(仮称)3号橋の下部工上部工に着手	鍋倉トンネル、(仮称)1号橋の供用開始。(仮称)3号橋の下部工上部工に着手。	道路改良舗装工、(仮称)3号橋の完了、供用開始。	●.....→ 工事													平成29年度の完成を目指す。
県道小野富岡線五枚沢2工区	県(土木部)	-	用地取得	道路詳細設計、用地測量	道路改良工事及びトンネル工事着手	●.....→ 工事													平成30年代前半の完成を目指す。
県道富岡大越線緊急現道対策	県(土木部)	-	-																
県管理道路 檜葉町エリア																			
県道小埜上郡山線井出工区	県(土木部)	-	用地取得・工事	用地取得、道路改良工事	用地取得、道路改良工事の推進	●.....→ 用地取得・工事													平成30年代前半の完成を目指す。
県道35号いわき浪江線他4路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	津波災2箇所完了を目指す。	災害復旧工事の実施	平成30年3月までに工事を完了させる。	●.....→ 工事													平成29年度の完成を目指す。
県道広野小高線檜葉工区	県(土木部)	-	用地取得、道路改良工事の着手	用地取得、道路改良工事の実施	用地取得、道路改良工事の推進	●.....→ 工事													平成30年度の完成を目指す。

●→ : 工程が見込めるもの

●.....→ : 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H28年度の目標 (H28.7公表)	H28年度に実施 したこと(成果)	H29年度に実施 すること(目標)	29年度				30年度				31年度				32年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
県管理道路 川俣町エリア																			
県管理道路 国道459号他2路線	県(土木部)	舗装亀裂	-																工事完了
県管理道路 国道114号 (小綱木工区)	県(土木部)	-	-																工事完了
県管理道路 国道114号 (山木屋1・2・3工区)	県(土木部)	-	1工区の用地取得 2工区の路線測量、詳細設計 3工区の用地測量、用地取得	1工区 用地取得 2工区 路線・用地測量、道路 詳細設計 3工区 用地測量、物件調査	1工区 用地取得、一部工事着 手 2工区 用地取得、一部工事着 手 3工区 用地取得、一部工事着 手	●.....→	●.....→	●.....→	●.....→										平成30年代前半の完成を目指す。
県管理道路 国道349号 (大綱木工区)	県(土木部)	-	1工区の用地取得、一部工事 着手 2工区の用地取得	1工区 物件調査、用地取得、 一部工事着手 2工区 物件調査	1工区 用地取得、道路改良工 事推進 2工区 用地取得、道路改良工 事着手	●.....→	●.....→	●.....→	●.....→										平成30年代前半の完成を目指す。
県管理道路 原町川俣線 (飯坂工区)	県(土木部)	-	用地取得を実施。	用地取得	用地取得、一部工事着手	●.....→	●.....→	●.....→	●.....→										平成30年代前半の完成を目指す。
県管理道路 広野町エリア																			
県道393号 上北迫下北迫線 他1路線(地震)	県(土木部)	地震による被災(道路)	-																工事完了
県道広野小高線 北迫工区1	県(土木部)	-	平成28年度の完了を目指して 工事を進める。	平成28年度供用開始、事業完 了															工事完了
県道広野小高線 北迫工区2	県(土木部)	-	-																工事完了
県管理道路 葛尾村エリア																			
県管理道路 (帰還困難区域)	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	-																工事完了

道路（広域：帰還困難区域以外）のインフラ復旧状況（平成 28 年度末現在）

工 種	復旧の状況	内 容	(参考) 事業完了時期
常磐自動車道	◎	全線開通済	H27.3.1
一般国道 6 号	◎	本復旧完了	H25 年度末
県管理道路 (川内エリア)	×	—	
県管理道路 (檜葉エリア)	○	復旧済 18 箇所／被災 20 箇所	平成 29 年度
県管理道路 (田村エリア)	◎	復旧済 1 箇所／被災 1 箇所	平成 24 年度
県管理道路 (大熊エリア)	◎	復旧済 4 箇所／被災 4 箇所	平成 27 年度
県管理道路 (南相馬エリア)	○	復旧済 44 箇所／被災 49 箇所	平成 29 年度
県管理道路 (飯館エリア)	◎	復旧済 9 箇所／被災 9 箇所	平成 27 年度
県管理道路 (浪江エリア)	○	復旧済 19 箇所／被災 21 箇所	平成 32 年度
県管理道路 (双葉エリア)	○	復旧済 0 箇所／被災 5 箇所	平成 29 年度
県管理道路 (富岡エリア)	◎	復旧済 10 箇所／被災 10 箇所	平成 27 年度
県管理道路 (川俣エリア)	◎	復旧済 6 箇所／被災 6 箇所	平成 26 年度
県管理道路 (広野エリア)	◎	復旧済 2 箇所／被災 2 箇所	平成 24 年度
県管理道路 (葛尾エリア)	◎	復旧済 12 箇所／被災 12 箇所	平成 27 年度

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、▲：未着手、／：該当なし、×：被災なし

道路（広域：帰還困難区域）のインフラ復旧状況（平成 28 年度末現在）

工 種	復旧の状況	内 容	(参考) 事業完了時期
県管理道路 (大熊エリア)	○	復旧済 8 箇所／被災 13 箇所	中間貯蔵施設内 災害復旧整理中
県管理道路 (南相馬エリア)	×	—	
県管理道路 (飯館エリア)	◎	復旧済 2 箇所／被災 2 箇所	平成 28 年度
県管理道路 (浪江エリア)	○	復旧済 18 箇所／被災 19 箇所	平成 29 年度
県管理道路 (双葉エリア)	○	復旧済 14 箇所／被災 15 箇所	中間貯蔵施設内 災害復旧整理中
県管理道路 (富岡エリア)	◎	復旧済 5 箇所／被災 5 箇所	平成 27 年度
県管理道路 (葛尾エリア)	◎	復旧済 3 箇所／被災 3 箇所	平成 27 年度

【凡例】◎：復旧済・機能回復済、○：復旧中・建設中、▲：未着手、／：該当なし、×：被災なし